

園藝曆 (五月阜月) 大岩金

八十八夜 二日頃  
 氣節 立夏 六日頃  
 小満 廿二日

觀賞

花園の美はおそらく本月が最高であらうと思はれます。前月の球根草花の開花の多かつたのに次いで今月は秋時の二年草や宿根草が多いのであります。草花の名稱は便覽にゆづり木物の主なものをあげますれば牡丹、藤、バラ、エニシダ、シヤクナゲ、ツ、ヂ、八重山吹などであります

仕事

一、繁殖種

大方のものは三月、四月のうちに播種を終りますが朝顔は普通八十八夜の前後に播く事になつて居ります。是は寒さに弱くしばらく早播にすぎで失敗する事があるのであります。

口、挿木

ゼラニウム、カトネーション、ダリーヤ、菊などの挿木が出来るやうになります。活着のよびのは川砂を用いた場合でありますがこの時には肥料分を含んで居りませんから發根しましたならばなるべく早く培養土に移植してやる事があります。

ゼラニウムを挿木するには他の草花類と趣を異にしま

して切口は半日位乾かしまして後砂なり畑になり挿すの  
あります、従つて挿木して後も他のもの程に度々灌水をし  
ない方が却つてよく活着致します。

## 二、移植、定植及び間引

前月に播種しました草花類や蔬菜類が本葉四、五枚出ま  
したならば夫々移植又は定植しなければなりません。

朝顔の移植は他のものよりも早く本葉の出ないうちに行  
ふのであります。

蔬菜類中移植をするものは萬苺、紫蘇等であり間引をす  
るものは廿日大根、ビートなどであります。

## 三、その他の仕事

雑草取り、蟲取りなどは、いつにかはらず注意致しませ  
う。

球根類の開花の終つたものは結實させないやうに花軸を  
折つておきます。總べて種子の必要のないものは花がおは  
ればなるべく早く折りとつた方が草の爲によいのでありま  
す。

## 四、收穫

花作りのかたはらに作つた蔬菜がそろそろ收穫出来るや  
うになりました。眞赤に熟した草莓、青い豌豆の軟莢、莖  
荷の白い軟莢、勢よく茂つた恭菜等いづれも人の食べる爲  
に作つたわけではありませんがまづよろこぶものは小鳥か  
ら子供達のおまゝごとの材料尙餘れば子供に分ち新鮮味を  
賞味するのも結構であります。不出来な中にも自分達の  
手になつたものを收穫する程うれしい事は他に多くはある  
まいと思ひます。

## 母をたふ

——五月八日の『母の日』——

東京市、全国母の會等の主催にかゝる『母の日』大會が八  
日午後一時より日比谷公會堂で開かれた、會衆三千人、流石  
に女と子供が多数を占めた、開會冒頭司會者立大教授村尾昇  
一氏はカーネーションの花それぞれ一籠を皇后、皇太后兩陛  
下に献上する旨を報告し直に藤岡市社會教育課長及びアレキ  
サンダー女史は花籠を捧げて宮内省に出頭、献上の手續きを  
終り兩陛下にはこれを御嘉納あらせられた、一方會場では合  
唱、獨唱、舞踊、演説に母をほめちぎつて同三時閉會、それ  
より一同小雨中を街頭行進を開始し銀座を廻つて『母の日』  
の歌を歌ひながら二重橋前に至つて三陛下の萬歳を三唱して  
四時半會を終つた。